
令和5年度 第1回 川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 議 事 要 旨

【日 時】 令和5年6月28日（水） 14:00～15:10

【場 所】 川口市役所第二庁舎地下会議室

【出席者】

1 委 員

田中委員（会長）、吉井委員、岡本委員、庄司委員（副会長）、土田委員、小川委員、高山委員、小巻委員、森田委員、羽場委員

2 事務局

坂本部長、森岡次長、大場課長、金子補佐、半谷補佐、市村補佐、神田補佐、加藤補佐、山路補佐、今井主任

【日 程】

1 開 会

2 委員紹介

3 諮問書交付について

4 議 題

- （1）川口市障害者福祉計画等の策定について
- （2）計画策定のスケジュールについて
- （3）アンケート調査・意見交換会の実施について
- （4）現行計画施策・事業の進捗状況調査について
- （5）「障害」という言葉の漢字表記について
- （6）旧しらゆりの家跡地を活用した新たな障害者短期入所施設の整備について
- （7）その他

5 閉 会

【配布資料】

- ・第1回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 次第
- ・川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 委員名簿
- ・第1回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 席次表
- ・資料1 川口市における障害者に関する計画について
- ・資料2 川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会スケジュール
- ・資料3 アンケート調査項目
- ・資料4 進捗状況調査表
- ・川口市自立支援協議委員会の意見
- ・川口市障害者福祉計画（平成30～35年度）

[議事要旨]

1 開 会

2 委員・事務局職員紹介

委員の紹介、会長挨拶等が行われた。

3 諮問書交付について

4 議 題

(1) 川口市障害者福祉計画等の策定について

(2) 計画策定のスケジュールについて

(3) アンケート調査・意見交換会の実施について

(4) 現行計画施策・事業の進捗状況調査について

【質疑応答・意見】

(委 員) 資料3のアンケートについて、自立支援協議会の意見がある。整理番号37番、虐待の有無のところで自立支援協議会としては、本人が受けた虐待の有無だけではなく、目撃情報まで広げたほうがいいのではないかという意見が出ているがいかかがか。

(委 員) 目撃情報まで広げたほうがいいという意見を受け、その回答を得たまま、それをどうするのかということまでは考えなくて良いのか。

(事務局) 本人だけではなくて、他の人への虐待を目撃した結果、例えば通所しづらくなったというようなことがないのかということで、この項目も入れたほうがいいのかという話になった。ただ、アンケート回答者の負担が増えてくるもので、どこまで載せるべきか悩んでいる。また、目撃情報からつなげる設問として、相談窓口等の認知度を把握する設問を追加したい。

(委 員) 11ページの子どもに対する調査、整理番号2番の性別に「その他」を入れるかどうか。特に意見がなければ、他の調査と同じく「その他」を入れることにしてはどうか。

(事務局) 「その他」を入れることとする。

(委 員) 市民アンケート（身体・知的・精神）の整理番号3番の年齢区分について、若者のニーズを把握するため、「18～39歳」を、18～29歳、30～39歳にしてはどうか。

12番の家族構成について、「親と未婚の子ども」「親と成人の子ども」があってもいいのではないか。

28番の施設を選んだ理由に、「地域のサービスが足りないから」とか、「使えないから」とか、「継続して地域で暮らすのが難しいから」といったような項目が必要ではないか。グループホームを選んだ理由について、「少人数だから」とか「ほかに選択肢がなかったから」も入れたらいいのではないか。

29番の入所・入居の希望時期について、「地域での生活が難しかったら」という項目も入れてはいかかがか。

36番の市民の障害者への理解度について、「あなたの目からみて、市民の障害者への理解度をどのように考えますか」とあるが、この障害というのは、いわゆる身体障害、知的障害、精神障害という方の身体状況を指していると思う。障害の理解は社会モデルな

ので、それに基づき、社会の中での生きにくさを理解しているのかが大事ではないか。その辺りの説明を加え、「障壁の理解、生きにくさの理解ができていないか」としてはどうか。

72番の避難所生活で不安なことについて、障害のある女性への支援というのが考えられていないために避難所に行けないという人もいますので「性別に配慮した支援が受けられない」という選択肢を入れてはいかがか。

子どもアンケートの14番の家族の年収のところは削除候補になっているが、サービスの利用制限などもあるので聞いておいたほうがいいのではないかな。

24番の健康維持・医療の困りごとについて、「介護の負担が大きい」という項目も入れたらどうか。

25番の教育について、障害児の通所と保育園の両方に行くケースもあるので、複数回答でよいのではないかな。

35番の義務教育期間に必要なと思う支援で、「包括的性教育」を入れてはいかがか。

施設利用者アンケート、29番の仕事について、働かない理由の箇所について、「入所しているから」を入れた方がいいのではないかな。

施設利用アンケートの39番のまちづくり・地域生活について、いわゆる地域生活支援拠点の要素である「救急連絡」「体験の場」「コーディネーター」の選択肢を追加してはどうか。

事業所アンケートの7番の強度行動障害のある方の受け入れの可否について、既にしているかどうか聞いてもいいのではないかな。重度重複障害、医療的ケア、ADLの低下も同じと考える。

24番の地域生活について、虐待防止委員会の設置、定期的な会議をしているかどうか聞いてはどうか。

(事務局) 事業所アンケートの7番について、「既に受け入れている」「できる」「できない」、そしてできない理由を入れるという形とする。(その他についても、反対意見がないため、アンケートに反映するものとする。)

(委員) 市民アンケートの整理番号32番の福祉サービス情報の入手先について、(〇は3つまで)とあるが、複数回答で良いのではないかな。できる限り知り得る情報源を知っておいたほうが、その後、対応しやすい。

33番の情報の取得利用や意思疎通支援に必要なICT施策の設問の前に「必要なのか」「今は必要でないのか」それとも「考えていないのか」を聞いてもいいのではないかな。

また、選択肢7は重複する感じもあるので、なくてもいいのではないかな。

(委員) 判断は事務局に任せる。

(事務局) 検討します。(検討の結果、修正しないものとする。)

(5)「障害」という言葉の漢字表記について

【質疑応答・意見】

(委員) 過去にも同じ議論がされ、漢字表記にすることとされた経緯があるので、改めて議論するのはいかなものか。

(委員) 確認の意味で事務局から議題として出されたものである。

現在の取り扱い(漢字表記)のままにするということで、合意がなされた。

(6) 旧しらゆりの家跡地を活用した新たな障害者短期入所施設の整備について

【質疑応答・意見】

意見・質問なし

(7) その他

事務局より、次回の予定について連絡があった。

5 閉 会

以 上